

白高梅溪 （いひたか） 書家、漢詩人。嘉永五年十一月五日下野國生れ、大正九年四月十九日歿（八五—一九〇〇）。別號様溪、梅翁居士。東京府出仕。のち宮内省に轉じ、内大臣秘書官、東京御學問所御用掛、宮中顧問官等歴任。書き長、二洲の學び一家を成した。白清職役當時の木札の大書へ大本營へのその筆蹟といふ。小中學尙書官教本多數。

著書 『進徳御宇帖』（池邊義象撰、明治二十八年一月五日（四東書房）等。